
リバーズエッジ-Rivers edge-

りす君

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リバーズエッジ - Rivers edge -

【Nコード】

N2483B

【作者名】

りす君

【あらすじ】

昔は名をはせていた有名小説家だったが、今はただの老いぼれジジイである男は、いつも通りに夕方、川べりに座ってぼーっと1日を過ごしていた。男は、夕焼けに映し出された素晴らしい川岸での光景を見ていたが途中、非常に哀しい現実を目の当たりにしてしまう…。ゴーイングのアルバムの中から一曲選んだ内で、このタイトル名になりました。この作品と曲との関連性は場所が川べりである所だけです…すみません。

（前書き）

これは、私がいつもより集中して書いた作品です。是非、御覧になって下さい。

私は、63才の初老男。

昔は、実力を見い出されて名をはせた有名な小説家だったが、今は誰が見ても老いばれジジイだ。今日も夕方まで家の近くを流れている川の川べりでぼーっと1日を過ごしていた。

鳥が鳴く事は私にとって、夕方の合図を知らせるようだと感じている。子供達は川岸に敷き詰められた軽石をポンと投げて遊ぶ姿は私の少年時代を思い出させる光景だ。側で子供達の母親が集まって主婦話をしているようだ。

夕焼け色に染まる川の水面は格段と美しくキラキラと光っている。みなもしかし、この美しさも最近、人間の手によるゴミの不法投棄によって、徐々に失いつつあるのだ。私はその事を非常に残念に思っている…。

この川は私が幼い頃から親しんできたお気に入りの場所である。だからこそ、不法投棄は許したくない行為である。

水質汚濁という言葉は今若者達は知っているだろうか？川の近くの工場から出る排水や、家庭から出る生活排水により、川が汚染されていき汚くなる。そうなると匂いも強烈になり、汚染が極度に進むと酷い場合は、そこから伝染病も発生するのだ。そうなったら、川の付近の住民達はひとたまりではない。そうなる前に不法投棄をやめさせなければ…

そう考えていた時、私は目の前にゆらゆらと空き缶が浮いているのが見えた。拾い上げ、流れてきた川上の方を見るとあっちで遊んでいる少年達が棄てたのだと解った。私は少年達に近付き、

「こらっ、ダメじゃないか空き缶を川に棄てては！ちゃんと、空き缶入れの中に入れないと。」

すると少年達は、

「うるさいなあ、このジジイ。解ったよ、棄てれば良いんでしょ？

後で棄てるからあっち行けよ、邪魔だよ！」

と、少年らは言って遊びに戻っていった。私は少年達を引き留めずに静かにその場を去った。これ以上注意しても今の子供達には理解できないと悟ったからだ。

また私は、いつも座る定位置に缶をゴミ箱に棄ててから戻った。私から見て、この時代は嘆かわしい時代になったもんだと感じた。

自然を楽観的に見ているといつか罰が与えられる。それまで解らないのか、今の若い衆は！

私は、この時代の背景に嘆き悲しみながら家路についた…

（後書き）

御覧頂きまして、ありがとうございます。

皆様がこの小説を読み終えた後、少しでも周りの自然環境の事を考えてくれたら幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2483b/>

リバーズエッジ-Rivers edge-

2010年11月16日23時41分発行